

学校強靱化 ～エアコン整備・トイレの洋式化～



2018年秋 小林鷹之からの手紙
臨時号

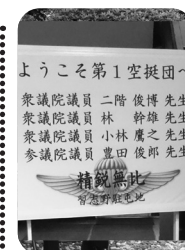
衆議院議員
自民党千葉二区支部 小林鷹之事務所発行
(八千代市・習志野市・千葉市花見川区) [討議資料]

目 地元小学校の「エアコン・トイレ」視察



①今回視察の対象となった八千代市からは服部市長、教育委員会、複数の校長先生に加え、豊田俊郎参議院議員、自民党の県議・市議の皆様にも参加頂きました。

目 習志野駐屯地で災害対応について意見交換



②災害対応時の道路アクセス、特に国道296号線の渋滞緩和の必要性について説明



国会事務所

〒100-8981
東京都千代田区永田町 2-2-1
衆議院第一議員会館 417 号室
電話 : 03-3508-7617
FAX : 03-3508-3997

ホームページ www.kobayashi-takayuki.jp

八千代事務所

〒276-0042
千葉県八千代市八千代台南 1-3-5
YYビル一階
電話 : 047-409-5842 FAX : 047-409-5843
Email : info@kobayashi-takayuki.jp

【学校強靱化とエアコン整備、トイレ洋式化】

6月の大阪北部地震におけるブロック塀の倒壊や、今夏の「災害」とも言える酷暑による熱中症によって、子どもたちの命が失われる事故が続きました。

日本の未来を担う子ども達の学びや生活の場であり、災害時には避難所となる学校の施設整備については、東日本大震災以降、「耐震化」は最優先で対策が講じられてきました。しかし老朽化対策、トイレの洋式化、エアコンについての整備が全国的にも進んでおりません。昨年12月に発行しました『小林鷹之からの手紙39号「子ども達のために。洋式トイレ？エアコン？」で学校施設に関する私の問題意識を述べていますので、ご一読頂ければと思います（小林鷹之のホームページからご覧下さい）。

そこで、今年の8月上旬に、自民党の二階俊博幹事長や、自民党の学校耐震化・施設整備促進議員連盟の同僚議員に地元の公立小学校において、エアコンが設置されていない普通教室、和式トイレ、蒸し風呂のような体育館を視察して頂き、意見交換を行いました。

私からは、地元（千葉市・習志野市・八千代市）のエアコン設置率が全国平均、県平均に比べて極端に低いという現状と①教育こそが未来の国力を決めること②そのための環境整備を求める子供と保護者の強い思いに政治が応える必要性があること③首都直下型地震がこの先30年以内に70%の確率で起こるとされ、特に今年は千葉県で地震が頻発している現実を踏まえれば、大規模災害時に多くの住民の避難場所となる体育館についてもエアコン整備やトイレの様式化は、国民の命を守る国土強靱化そのものであることを申し上げました。

二階幹事長はじめ、同僚議員からも、賛同頂き、非常に実りある視察になりました。なお、これは私の地元特有の問題ではなく、全国的な課題です。国として相応の額を投じなければなりませんし、各自治体の財政負担も生じます。難しい課題ではありますが、政権与党だからこそ果たせる役割があります。

政府においても、熱中症対策は喫緊の課題であるとの認識から、来年度の予算について文部科学省の概算要求に「公立学校安全対策・防災機能の強化の推進」費として約2400億円が盛り込まれました。今年度の補正予算および来年度の当初予算の確保に向けて、仲間と共にしっかりと行動してまいります。

また、学校視察に加え、二階幹事長と共に習志野駐屯地を訪問し、戒田団長から陸上自衛隊第一空挺団について、災害対応の視点を含めて丁寧にご説明頂きました。私からは自衛隊に対する日頃の感謝を申し上げた上で、有事・大規模災害時、そしてその両方が同時に起こる、いわゆる複合事態において、即応性が求められる陸自・第一空挺団にとって、慢性的に渋滞が生じる国道296号（成田街道）の渋滞緩和は必須である旨指摘し、二階幹事長からは貴重なアドバイスも頂きました。抜本的な解決に越したことはありませんが、できることから一つひとつ取り組んでまいります。